

## モンゴル近況 2018年4月

政治

- 1)モンゴルは米国と北朝鮮の首脳会談をモンゴルでの開催を提案している
- 2)4月6-9日トルコ首相がモンゴルを公式訪問した。二国間の経済協力、自由貿易協定締結についての調査に合意した。
- 3)政府は3本柱（食料農牧、観光、製造）の開発政策を発表した。
- 4)汚職対策庁は本年を汚職対策年にするると宣言した。
- 5)オユトルゴイ投資協定に関連した元財務大臣と二人の元首相が拘留された。

経済

- 1)モンゴル銀行は政策金利を1%引き下げ10%とした。
- 2)オユトルゴイ社は税務庁の追加課税催告状に対し交渉での解決を要請した。行き詰った場合には国際仲裁裁判所に訴えることを警告した。
- 3)IMFは拡張信用供与措置のフェーズ3を評価し3305万ドルの融資を決めた。  
IMFの融資総額は1億5279万ドルとなった。
- 4)汚職対策庁は2009年に締結されたオユトルゴイ投資協定が国益に違反していないかを確認する為ドバイ協定の監査を行う方針をきめ、作業部会を設置した。
- 5)4月9日中国を訪問したU.Khrelsukh（フレルスフ）首相は李克強首相と交渉し中国から20億元(3.6億ドル)の無償援助を得た。
- 6)モンゴル・中国企業間で36件、総額45億ドルの事業契約を締結した。

社会

- 1)遊牧家畜の口蹄疫の蔓延状況が悪化した。政府は対応中。
- 2)エルデネット鉱山を担保に外国銀行から融資を受けた民間企業関係者の捜査が始まった。
- 3)首都上告裁判所はL.プレルバーター元ウランバートル鉄道社長が会社の資金で14億8400万Tgのハウスを購入した件を審理し、10億Tgを会社に戻すよう命じた。
- 4)政府は中央下水処理場の汚泥の脱臭・処理に350億Tgの投入を決めた。
- 5)政府は道路の維持管理に200億Tgの投入を決めた。
- 6)世銀は2021年までに8万4900人の雇用を創出支援に2500万ドルを提供する  
世銀常駐代表事務所長は0-3才児童を持つ母親や卒業後に就職できない青年をサポートする目的であると述べた。

教育文化

- 1)モンゴルで24年間教育活動を行ってきたトルコのEmpathy World学校が閉鎖される危機にありドイツのEmpathy World Wide Education機関が株式を購入し、各地（UB市、ダルハンオール県、オルホン県、バヤンウルゲイ県）にあるEmpathy World学校を運営していくことになった。  
ドイツ機関の理事長は教育プログラムはケンブリッジ教育プログラムの導入を考慮していることを明らかにした。